

[2018.08.20]

2018年12月期第2四半期 決算説明会資料

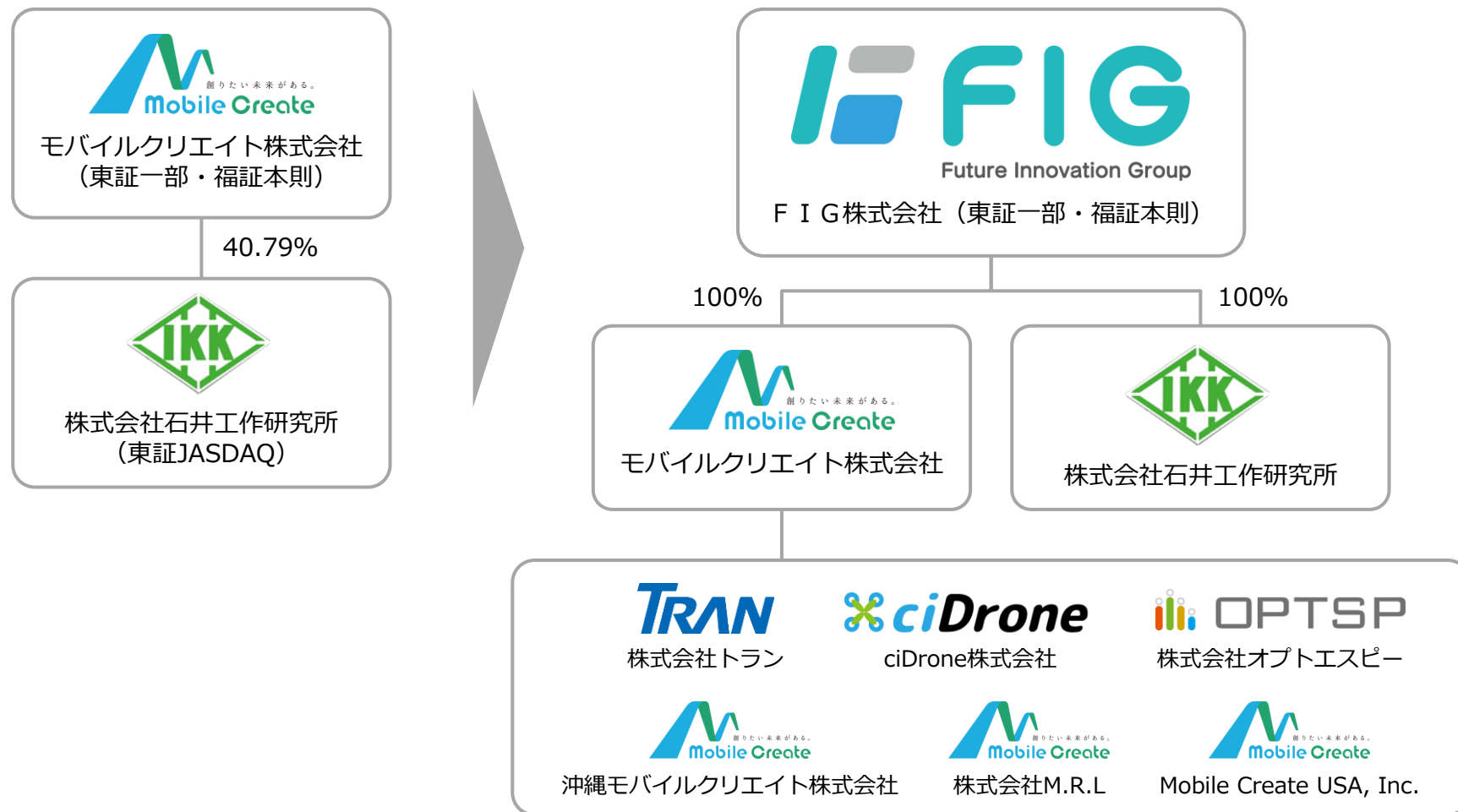


モバイルクリエイイトと石井工作研究所の経営統合について

2017年8月10日 : 共同持株会社設立（株式移転）による経営統合を公表

2018年6月27日 : モバイルクリエイイトと石井工作研究所が上場廃止

2018年7月2日 : 共同持株会社「F I G株式会社」を設立



会社概要

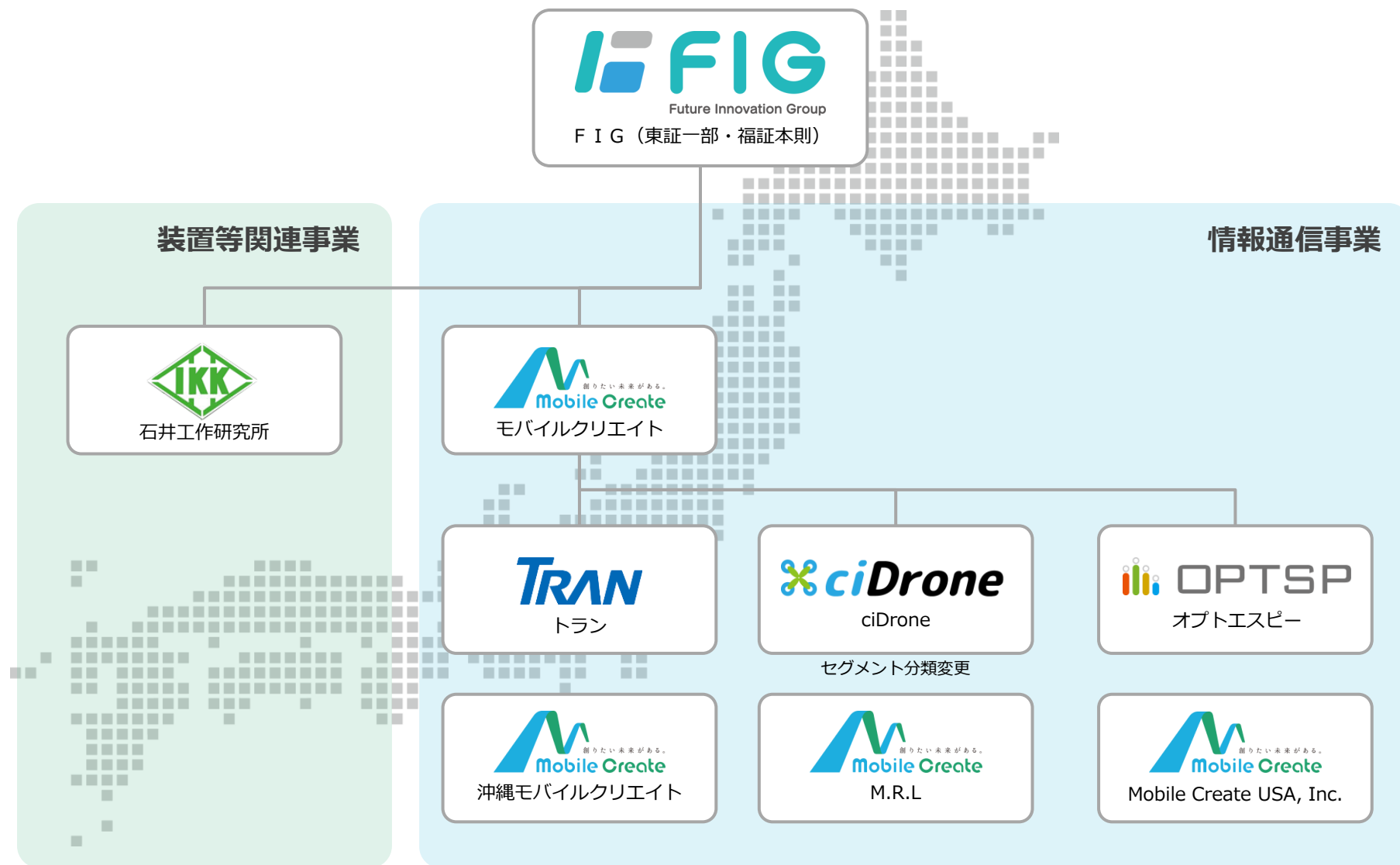
商号	F I G株式会社 英文社名：Future Innovation Group, Inc.
設立	2018年7月2日
代表者	代表取締役社長 村井 雄司
資本金	20億円
所在地	大分県大分市東大道二丁目5番60号
上場市場	東京証券取引所市場第一部・福岡証券取引所本則市場
証券コード	4392
発行済株式総数	31,084,515株（2018年7月2日現在）
従業員数	471名(2018年7月2日現在連結)
事業内容	子会社等の経営管理およびそれに付帯または関連する業務

沿革

- 2018.07 FIG株式会社が東京証券取引所市場第一部および福岡証券取引所本則市場へ上場
- 2018.07 モバイルクリエイイト株式会社と株式会社石井工作研究所の共同持株会社としてFIG株式会社を設立
- 2016.03 モバイルクリエイイト株式会社が株式会社石井工作研究所を連結子会社化
- 2015.01 モバイルクリエイイト株式会社が株式会社石井工作研究所を持分法適用関連会社化
- 2013.12 モバイルクリエイイト株式会社が東京証券取引所市場第一部および福岡証券取引所本則市場へ市場変更
- 2012.12 モバイルクリエイイト株式会社が東京証券取引所マザーズおよび福岡証券取引所Q-Boardに上場
- 2004.12 株式会社石井工作研究所がジャスダック証券取引所（現東京証券取引所）JASDAQに上場
- 2002.12 モバイルクリエイイト株式会社設立
- 1979.01 株式会社石井工作研究所設立



グループ相関図（2018年7月2日現在）

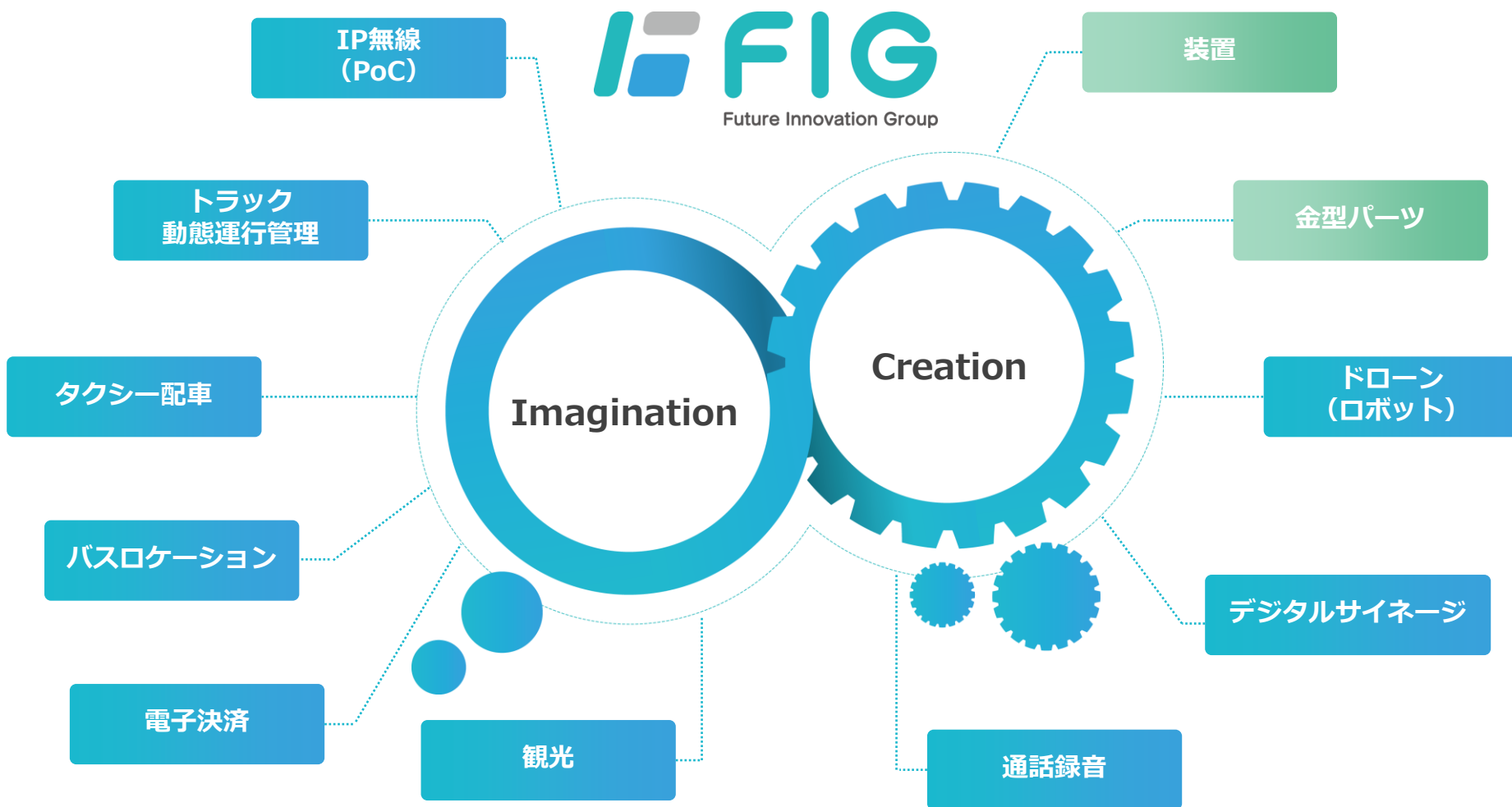


事業領域

情報通信事業

装置等関連事業

想像と技術と情熱で快適な未来を創造



中核会社（モバイルクリエイイトの事業内容）

5つのコア技術



サービス（主力）



ボイスパケット
トランシーバー

NTTドコモの携帯通
信網を利用したIP無
線機（許認可・基地
局・免許不要）



モバロケ

移動体をリアルタイ
ムで管理する動態管
理システム（物流メ
イン）



Vクレジット
Felica

オンライン決済を可
能にした電子決済シ
ステム（各種電子マ
ネー・クレジット）



新視令

無線・料金メータ・
ナビを連動、顧客情
報を瞬時に表示、配
車時間を短縮するタ
クシー配車システム



モバステーション

バス運行ダイヤと連
動・経路乗継検索・
接近情報等、バスを
見える化したバスロ
ケーションシステム



デジタルサイネージ

ディスプレイなどの
電子的な表示器を
使って情報を発信。
バス車内やターミナ
ル構内等に設置。

市場

メイン市場（交通・運輸系）

物流	タクシー	バス
----	------	----

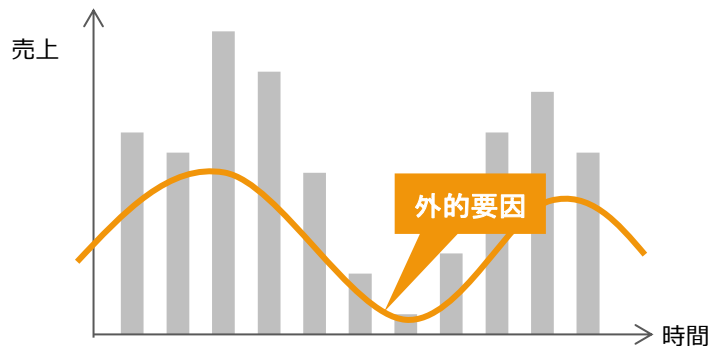
その他市場

防災	BCP
産業廃棄物・生コン	建設
医療・介護・福祉	警備、他

中核会社（モバイルクリエイティブのフロー&ストックの成長モデル）

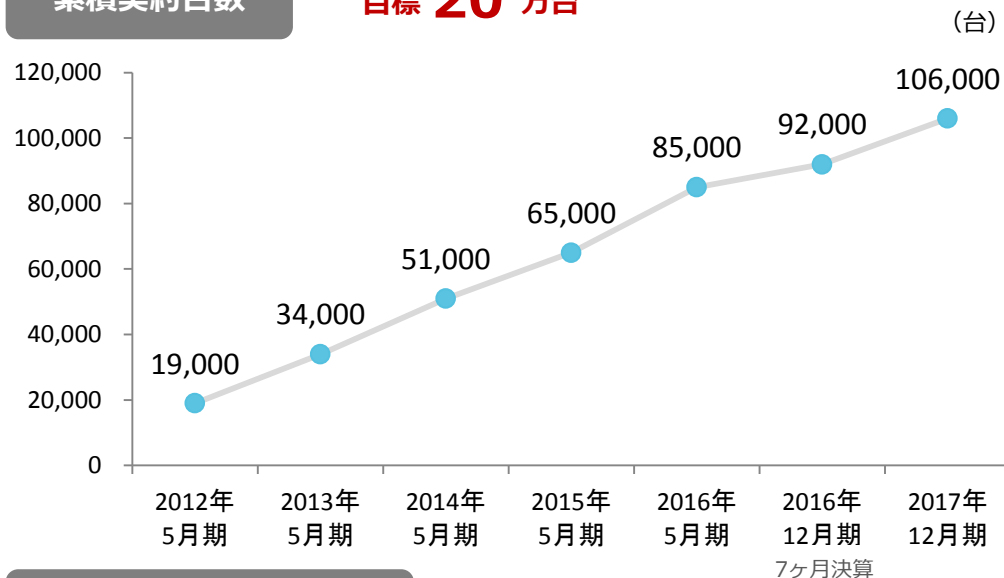
フロー

- 販売時における収入（システムの開発・販売）
- 外的要因に左右されやすい



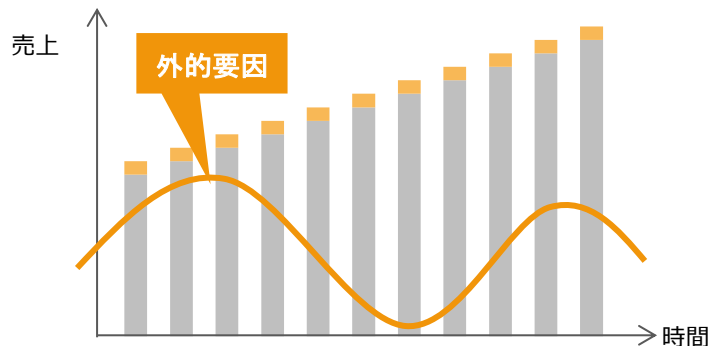
累積契約台数

目標 **20** 万台

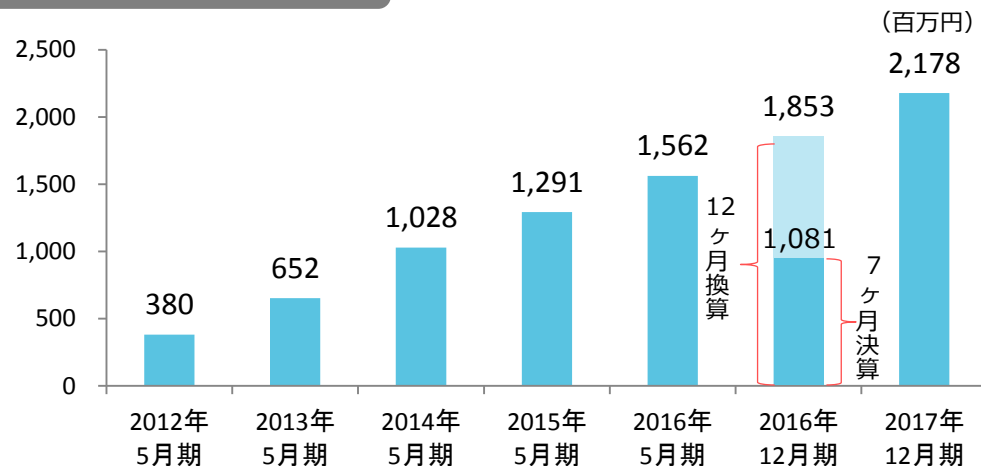


ストック

- 継続的なサービスの提供による収入（月額利用料・保守料）
- 安定した収益が得られる

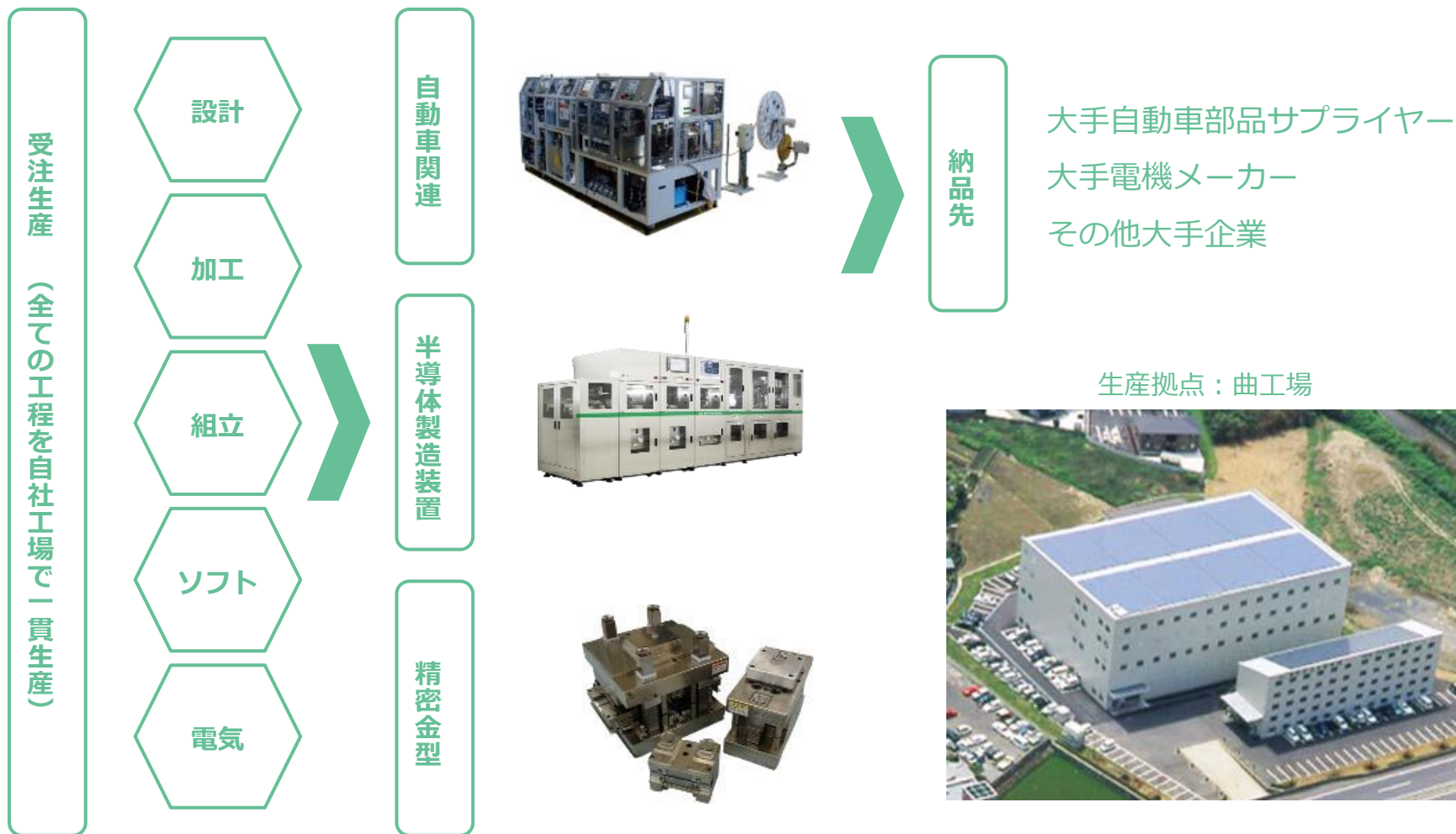


ストック売上高の推移

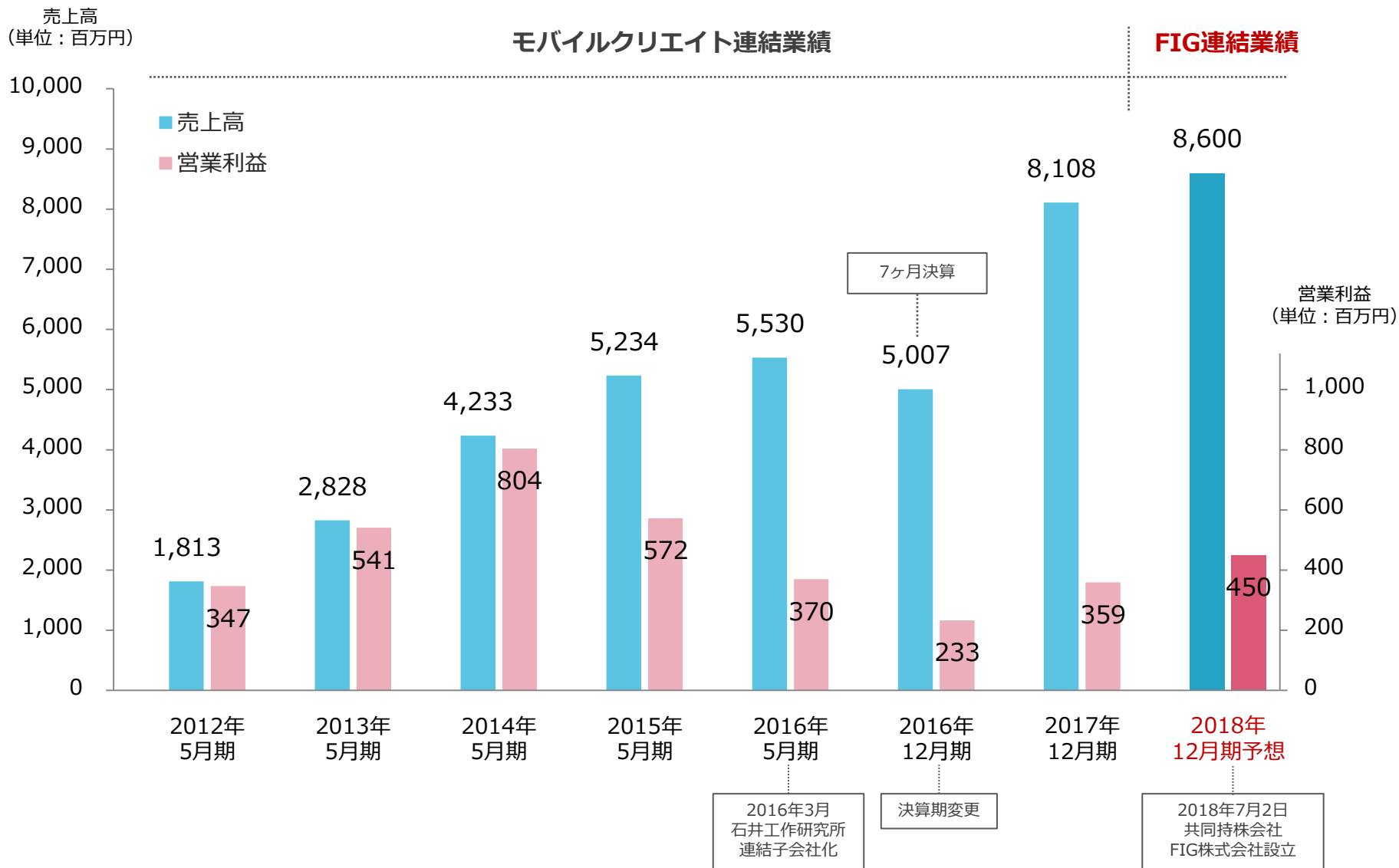


中核会社（石井工作研究所の事業内容）

- 部品から自社で制作し、多岐にわたる精密加工技術を有す
- 高い「ものづくり」の技術と大手企業を中心とした優良な顧客基盤



売上高と営業利益の推移（連結業績）



通期業績予想とQ2実績

単位：百万円

	2018年12月期（2018年1月～2018年12月）			
	モバイルクリエイト 通期業績予想 (2018年2月14日公表)	FIG 通期業績予想 (2018年8月10日公表)	モバイルクリエイト 2Q累計実績	進捗率
売上高	8,600	8,600	4,127	48.0%
営業利益	450	450	189	42.1%
経常利益	458	458	234	51.2%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	200	265	56	21.3%
1株当たり 当期純利益	8.64円	9.77円	—	—

ご留意事項

本ページ以降の決算数値は、FIG株式会社設立以前のモバイルクリエイイト株式会社の連結決算数値です。

損益計算書（四半期別累計）

単位：百万円／下段：売上比

	2017年12月期				2018年12月期			
	1Q	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q	2Q累計	3Q累計	4Q累計
売上高	1,905 (100.0%)	3,704 (100.0%)	5,523 (100.0%)	8,108 (100.0%)	1,982 (100.0%)	4,127 (100.0%)		
売上総利益	581 (30.5%)	1,081 (29.2%)	1,580 (28.6%)	2,333 (28.8%)	599 (30.3%)	1,180 (28.6%)		
営業利益	101 (5.3%)	103 (2.8%)	97 (1.8%)	359 (4.4%)	105 (5.3%)	189 (4.6%)		
経常利益	130 (6.8%)	144 (3.9%)	140 (2.5%)	412 (5.1%)	137 (6.9%)	234 (5.7%)		
親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益	67 (3.5%)	48 (1.3%)	40 (0.7%)	186 (2.3%)	61 (3.1%)	56 (1.4%)		

損益計算書（前年同期比較）

単位：百万円／下段は売上比

	2017年12月期 2Q累計	2018年12月期 2Q累計	2Q累計	主な要因
			前年同期比	
売上高	3,704 (100.0%)	4,127 (100.0%)	+11.4%	自動車設備関連装置の受注が好調に推移した結果、売上高及び各利益ともに前年同期を上回る。
売上総利益	1,081 (29.2%)	1,180 (28.6%)	+9.2%	
販売費及び一般管理費	977 (26.4%)	991 (24.0%)	+1.5%	
営業利益	103 (2.8%)	189 (4.6%)	+82.2%	
経常利益	144 (3.9%)	234 (5.7%)	+62.8%	
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	48 (1.3%)	56 (1.4%)	+15.7%	

セグメント別売上高と営業利益（前年同期比較）

単位：百万円／下段は構成比

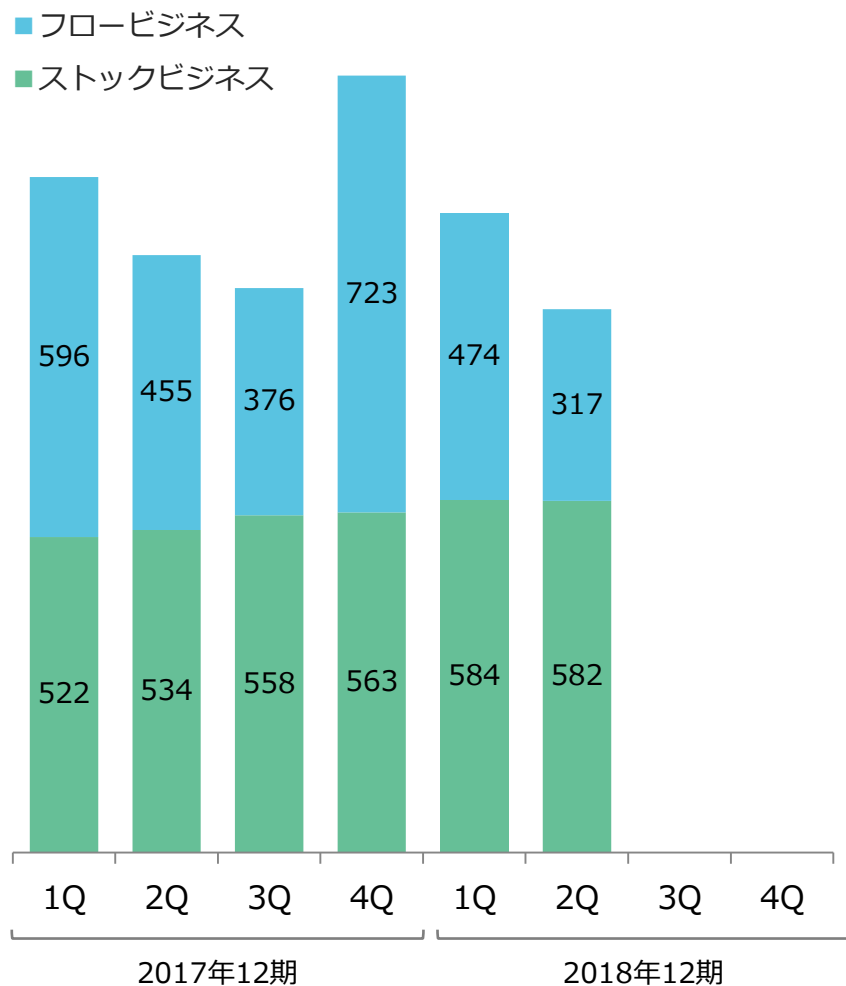
	2017年12月期 2Q累計	2018年12月期 2Q累計	
			前年同期比
売上高	3,704 (100.0%)	4,127 (100.0%)	+11.4%
情報通信事業	2,108 (56.9%)	1,959 (47.5%)	△7.1%
装置等関連事業	1,595 (43.1%)	2,168 (52.5%)	+35.9%

単位：百万円／下段は構成比

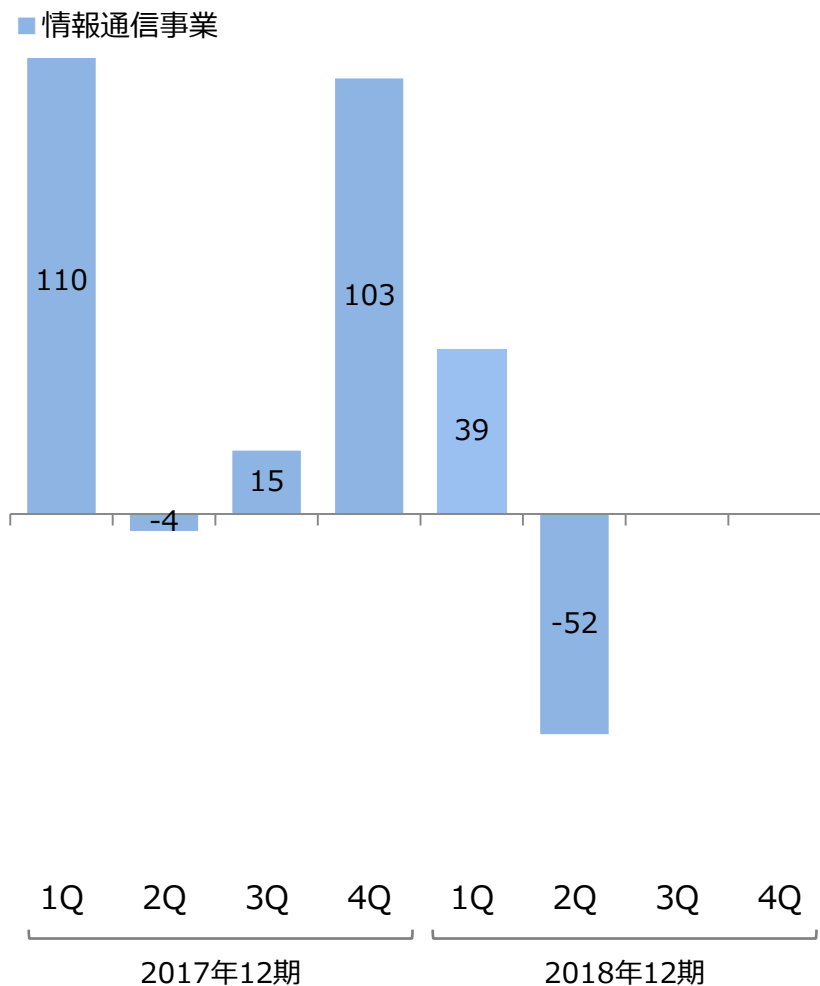
	2017年12月期 2Q累計	2018年12月期 2Q累計	
			前年同期比
営業利益	103 (100.0%)	189 (100.0%)	+82.2%
情報通信事業	105 (101.9%)	△13 (△7.1%)	—
装置等関連事業	6 (6.3%)	204 (108.0%)	—
調整額	△8 (△8.1%)	△1 (△1.0%)	—

情報通信事業（売上高と営業利益の四半期別推移）

売上高の推移 (単位:百万円)



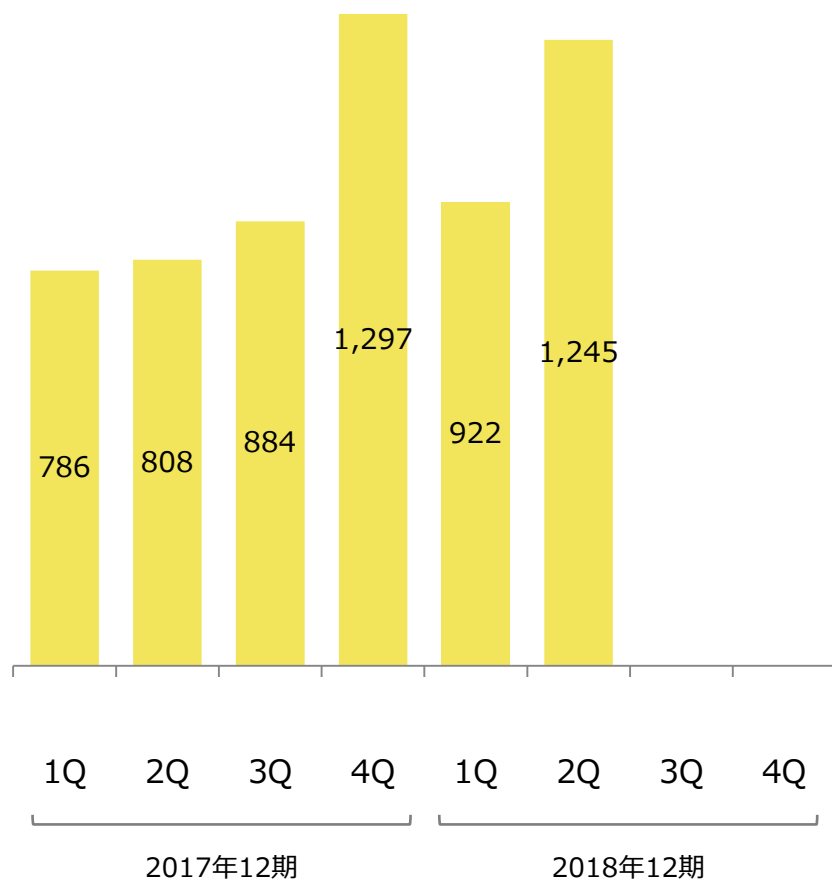
営業利益の推移 (単位:百万円)



装置等関連事業（売上高と営業利益の四半期別推移）

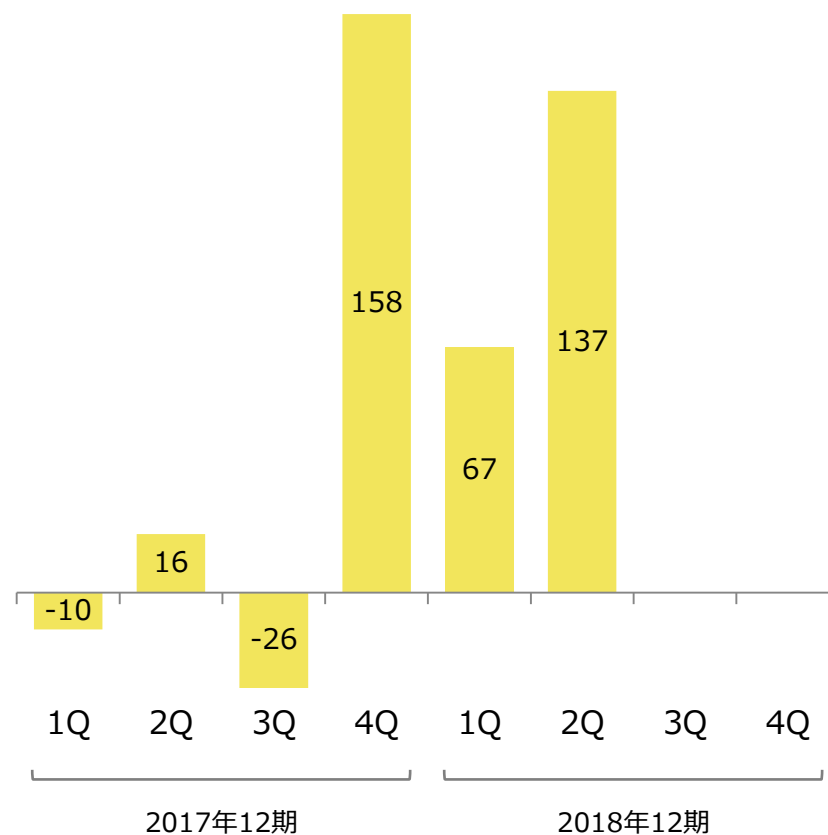
売上高の推移 (単位:百万円)

■ 装置等関連事業



営業利益の推移 (単位:百万円)

■ 装置等関連事業



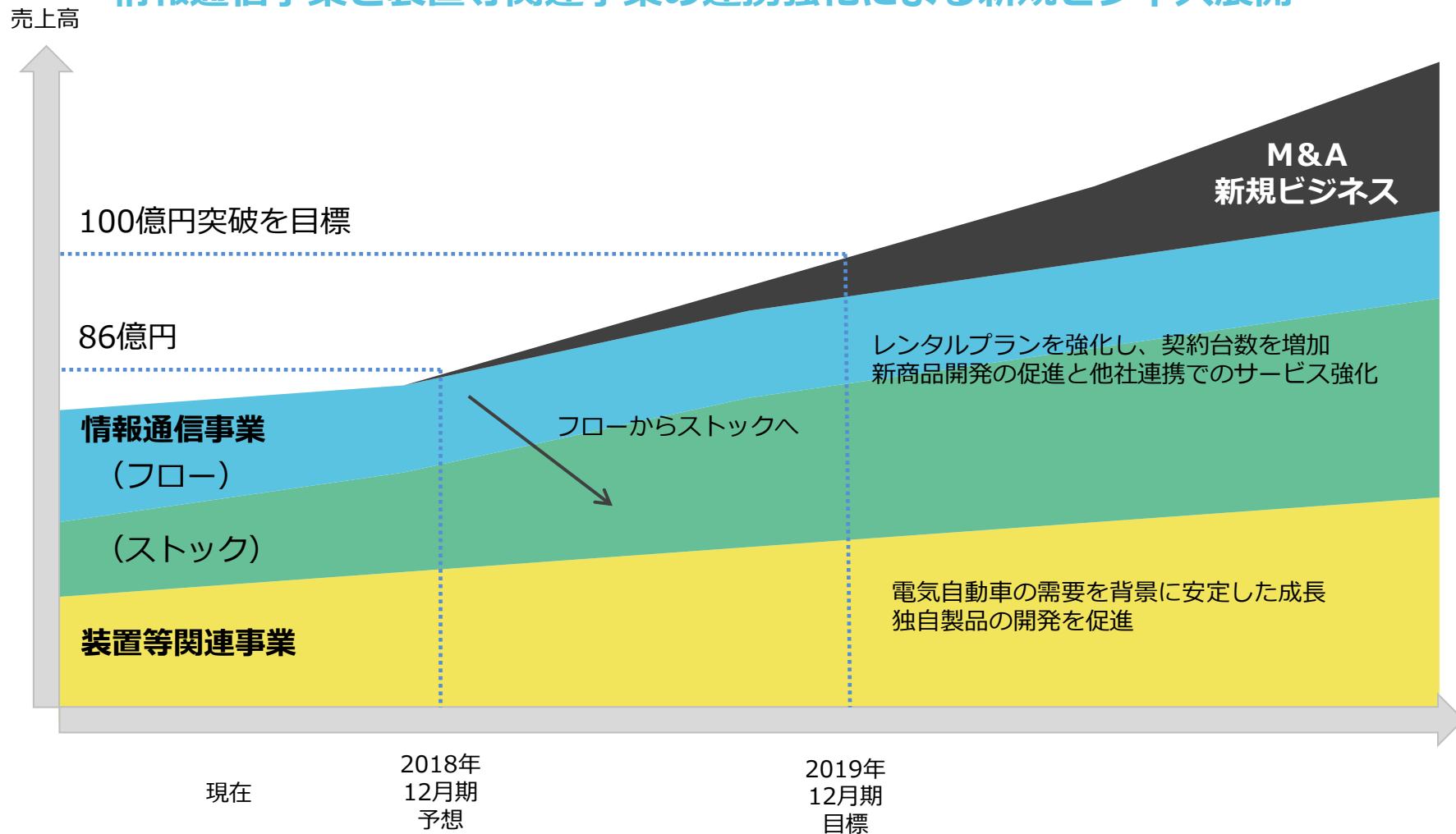
貸借対照表

単位：百万円／下段は構成比

	2017年12月期末	2018年12月期 2Q末		主な増減
			増減額	
流動資産	6,512 (57.0%)	6,565 (58.0%)	53	現金及び預金 △271 たな卸資産 +305
固定資産	4,907 (43.0%)	4,752 (42.0%)	△155	
資産合計	11,419 (100.0%)	11,317 (100.0%)	△102	
流動負債	2,628 (23.0%)	2,511 (22.2%)	△116	短期借入金 △100
固定負債	1,088 (9.5%)	1,121 (9.9%)	32	
負債合計	3,716 (32.5%)	3,633 (32.1%)	△83	
純資産	7,703 (67.5%)	7,684 (67.9%)	△18	配当金支払額 △115
負債・純資産合計	11,419 (100.0%)	11,317 (100.0%)	△102	

今後の成長イメージ

IoT分野での成長を加速、AI・ビッグデータを活用したサービス強化
情報通信事業と装置等関連事業の連携強化による新規ビジネス展開



トピックス：主力商品IP無線システムの進化

■ 新型ボイスパケットトランシーバーの開発（4Qにリリース）

- いろんなデバイスをクラウドに繋げる、IoTGW（IoTゲートウェイ）として進化
- ハードウェアのスペックが大幅に向上（既存アプリケーションや動画等搭載してもスペックに余裕あり）
- デッドレコニング（自律航法）の機能を搭載することでGPS単独では測位が困難な環境下でも高精度な位置発行が可能

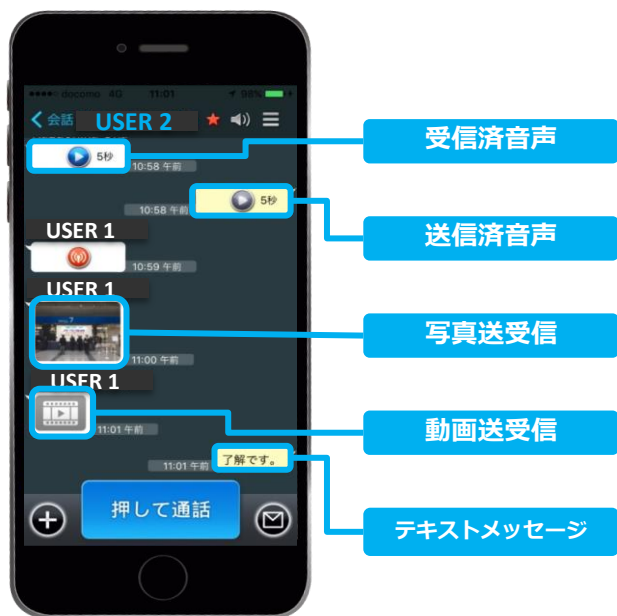


トピックス：主力商品IP無線システムにラインナップ追加

iMESHのデバイスに専用端末が誕生（3Qにリリース）

NEW

- モバイルクリエイイトがIP無線で培ったノウハウをスマホアプリで実現
 - － 3G・4G・Wi-Fi対応
 - － 1対1、1対複数間の同時音声通話
 - － グループを任意に設定（チーム内での情報共有）
 - － 音声録音（送受信した音声データをアプリ内に保持、聞き逃しを防止）
 - － テキストメッセージの送受信（通話が難しい環境可でも連絡可能）
 - － 写真・動画の送受信（スマートフォンで撮影した画像や動画を送受信可能）



SoundFitとBluetooth®でペアリングすることで騒音環境下においてもクリアな音声を相手に届けることが可能



防塵・防水性能 IP68

iMESHアプリの機能（多彩な通話・音声録音・テキストメッセージの送受信・写真動画の送受信）はそのままに、ボイスパケットトランシーバーとの相互通話や動態管理システム「モバロケ」との連携が可能

トピックス：主力商品IP無線システムの新たな市場開拓

デバイス市場 (iMESH投入により簡易無線やインカムの市場へも参入)

当社グループのデバイス		主な競合デバイス
<p>iMESH (ハンディ専用機)</p> <p>NEW</p> 	<p>ボイスパケットトランシーバー (車載機)</p> 	<p>他社IP無線 業務用無線 MCA無線</p>
	<p>iMESH (スマホアプリ)</p> <p>NEW</p> 	<p>簡易無線 インカム スマホ</p>

顧客市場

今まで



これから



トピックス：ドローン事業

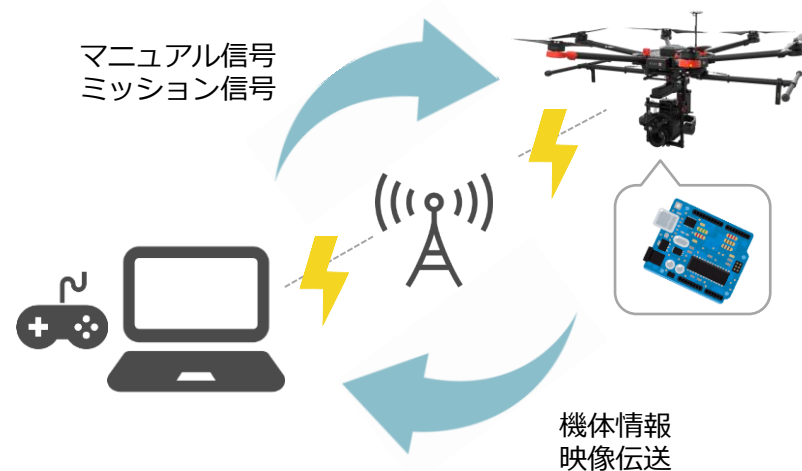
ドローン宅配の実用化に向けた実証実験

- 2018年3月9日実証実験を実施
- 全国初、約10kgの商品を山越え配送
- 大分が実施する実証実験の委託先として参加（大分県佐伯市宇目の山間部）



現在の開発案件

- 3G・4G（携帯通信網）を活用したセルラードローン
- 制御装置と操作・管理アプリケーションを開発中
- 携帯通信網を活用することにより、遠隔制御と大容量のデータ送受信が可能となる



トピックス：ロボットの研究開発と販売準備

■ グループ会社ciDroneの商号変更

- グループ内で産業用の自動搬送ロボットの研究開発及び販売準備のため、グループ会社ciDrone株式会社の商号を変更
- 変更日は2018年9月14日の予定

現在の商号：ciDrone株式会社

新しい商号：ciRobotics株式会社

■ AIV（Autonomous Intelligent Vehicle）

ロボット自ら走行する空間のマップを作り、マップデータをもとに走行し、障害物を自動的に避けながら目的地に向かう無人走行台車（群運行が可能）



トピックス：その他Q2の取組み

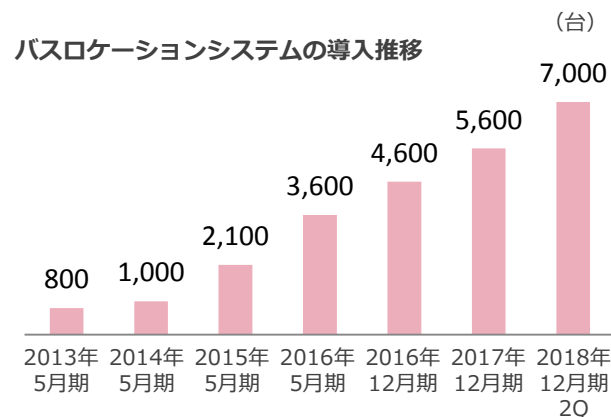
タクシー関連

- タクシー会社向けオリジナルのプリペイドポイントシステムのサービス開始（カードデザインも任意に印刷可能）
- クラウドIP-PBXをタクシー会社の配車室に初導入（SIPによる）



バスロケーションシステム

- 大分県バスロケーションシステム導入業務に係る公募型プロポーザルにおいてモバイルクリエイトが事業者に選定（地元大分での初導入）
- 導入台数は7千台を突破。急速に拡大中



電子決済

- 電子マネー「WAON」を用いたバスの運賃決済システム
バスの定額運賃決済開始、多区間の運賃決済にも対応予定
- Vクレジット（タクシー決済端末のIC対応）



クレジットカード等

5大ブランド

VISA・MasterCard・
JCB・DINERS CLUB・
AMERICAN EXPRESS

銀聯
カード

オリジナル
プリペイド
ポイントカード

電子マネー

【交通系】

Kitaca・Suica・PASMO・TOICA・
manaca・ICOCA・SUGOCA・
nimoca・はやかけん

【商業系】

iD・WAON

トピックス：他社との協業

ゼンリンデータコムとの協業

- FIG株式会社と株式会社ゼンリンデータコムは両社の強みやノウハウ、経営資源を利用して業務提携に合意
 - (1) 物流プローブ位置情報データを活用した生産性・安全性向上のサービス展開
 - (2) タクシープローブ位置情報データとAIを活用した需要予測等のサービス展開
 - (3) テレマティクス市場における車載器ビジネスの共同提案
 - (4) ドローン事業における三次元地図と大型機による商業サービス展開
 - (5) ロボット分野・自動運転ソリューション分野への新規展開
 - (6) その他双方合意した内容



ZENRIN
DataCom



FIG
Future Innovation Group



Mobile Create
創りたい未来がある。



TRAN



ciDrone



OPTSP

株主還元

2018年12月期の期末配当 **5** 円（予定）

2018年12月期の株主優待 **5** 単元以上保有で
大分県産品の商品
（2,000円相当）

過去事例



大分県産カボスとカボスのゼリー



大分県産しいたけ



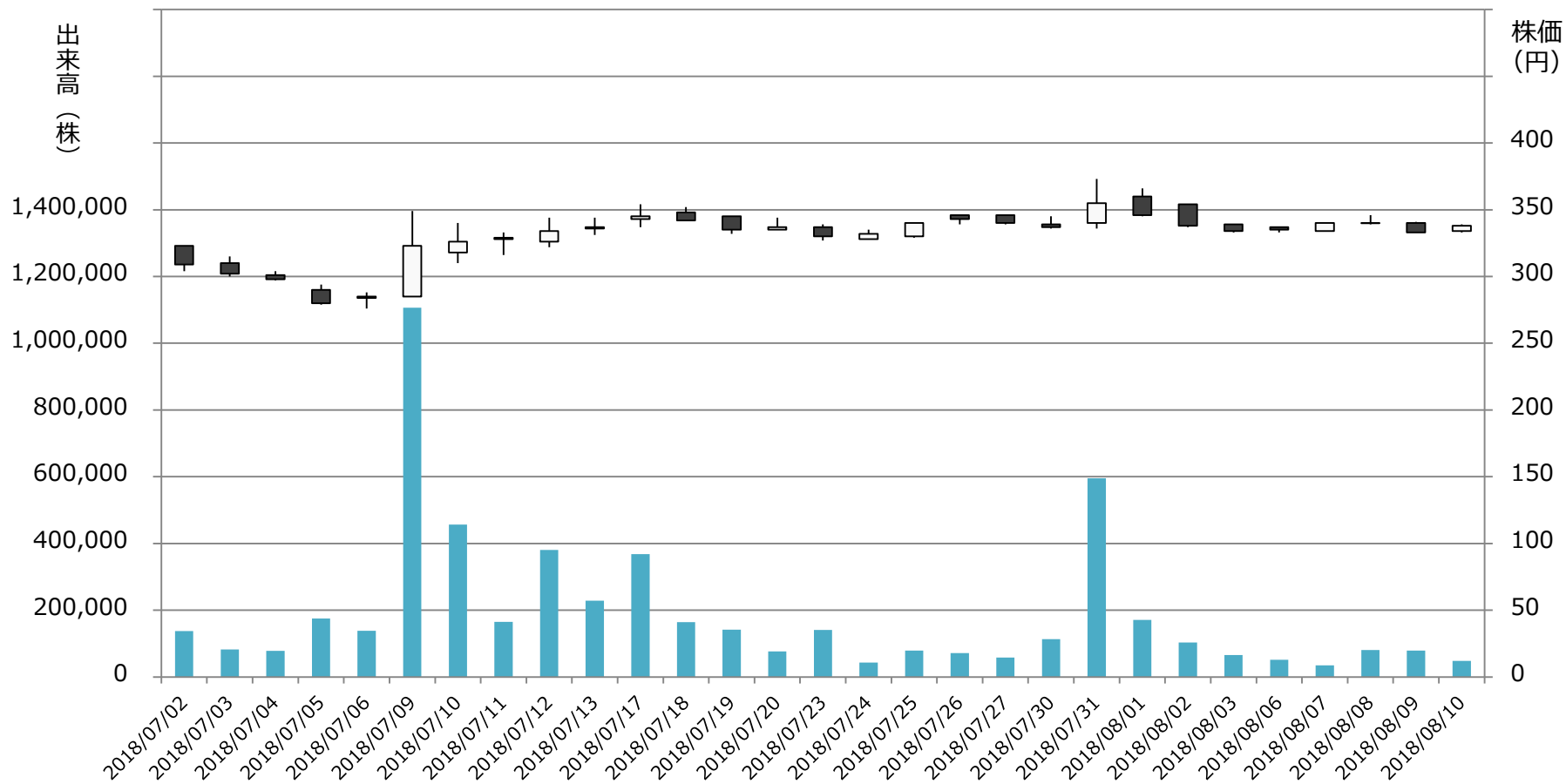
大分県産品詰め合わせ



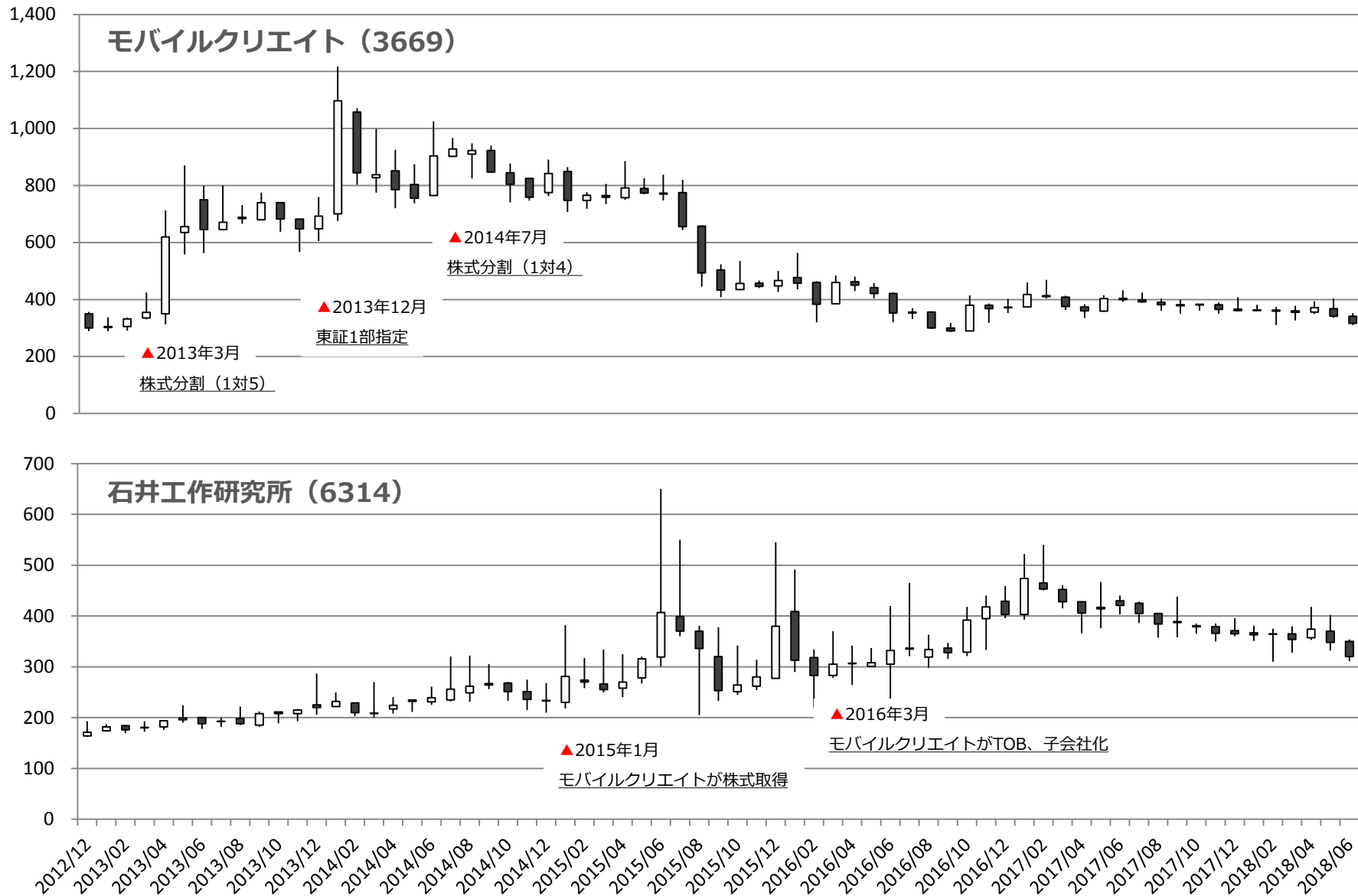
大分県産のお米

株価推移 (FIG : 4392)

株価	一株当たり純利益 (EPS)	配当金 (DPS)	株価収益率 (PER)	株価純資産倍率 (PBR)
338円 (2018/8/10終値)	9.77円 (2018年12月期計画)	5.00円 (2018年12月期末予想)	34.56倍 (2018年12月期計画)	—



株価推移（モバイルクリエイト・石井工作研究所）





【連絡先】 F I G株式会社 経営企画室
【住所】 大分県大分市東大道二丁目5番60号
【TEL】 097-576-8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

※「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

※「FeliCa」はソニー(株)、「Bluetooth®」は、Bluetooth SIG, Inc. USA、「Wi-Fi」はWi-Fi Alliance、「iD」はNTTドコモ、「Suica」は東日本旅客鉄道(株)、「SUGOCA」は九州旅客鉄道(株)、「OKICA」は沖縄ICカード(株)、「WAON」はイオン(株)、「kitaca」は、北海道旅客鉄道(株)、「Suica」は、東日本旅客鉄道(株)、「TOICA」は、東海旅客鉄道(株)、「manaca」・「マナカ」は、(株)名古屋交通開発機構及び(株)エムアイシー、「ICOCA」は、西日本旅客鉄道(株)、「SUGOCA」は、九州旅客鉄道(株)、「nimoca」は、西日本鉄道(株)、「はやかけん」は、福岡市交通局、「iD」は(株)NTTドコモ、「銀聯」はCHINA UNIONPAY CO., Ltd.の登録商標です。